



香川県立中央病院
Kagawa prefectural central hospital

れんけい

題字：松尾信彦書

香川県ドクターヘリ エンジンスタート！

～現場から病院まで早期医療介入による予後改善を目指して～

救命救急センター長 佐々木 和浩

ついに香川県ドクターヘリの運航が令和4年4月18日から開始します。県立中央病院と香川大学医学部附属病院の2施設が基地病院となって、1週間交代（原則は月曜日から日曜日まで）で担当します。最初は香川大学から始まりますので、当院での最初のフライトは4月25日となります。当院の現在のフライトドクターは、佐々木・乙宗・岩本（救命センター）、青江・鹿谷（呼吸器外科）、市原（消化器外科）、高橋（脳神経外科）の7人です。フライトナースは、横山・長池・城谷・松田・堀尾・徳永（救急外来）の6人です。どうぞよろしくお願いいたします。

香川県は全国で一番面積が小さい県ですが離島も多く、また県境からは救命センターが遠いため、こういった場所で重症者が発生した場合は病院到着まで時間がかかっていました。ドクターヘリは要請から5分以内で離陸します。香川県全域どこでも基地病院から10-15分以内で到着しますので、ヘリ要請から遅くとも20分以内には医師と看護師が患者さんと接触し、現場での治療を開始できます。ドクターヘリは休日も含め365日稼働していますが、原則日中での運用となります。朝8時30分から運航開始で、終了は日没までとなります。ただし、日没までに患者搬送を終えて、高松空港の車庫まで帰る必要があります。したがって、最終要請受付時間は6、7月では17時30分までですが、冬場は15時30分前後となる日もありますので、ご容赦ください。また、天候の悪い日や霧がかかって視界が悪い場合には、運航自体を中止する場合があります。

ドクターヘリを要請するのは管轄の消防となります。119番通報があった時点でヘリ要請が必要であると判断されれば、その時点で消防本部が要請をかけます。また、現場出動している救急隊の判断でそこから消防本部を通じて要請をかけることもあります。現場の救急隊が救急車でランデブーポイントと呼ばれる臨時離着陸場まで患者さんを搬送し、そこでフライトスタッフが治療を開始します。多くは基地病院へ搬送されると思いますが、患者さんの状態やかかりつけの病院の有無によっては、地域の病院への搬送を依頼することもありますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

また病院間搬送、いわゆる転院搬送についてもドクターヘリを活用できます。

離島からの搬送であったり、または救急車では20分以上かかる遠距離の病院への搬送で、重症外傷や、急性心筋梗塞や大動脈解離、重症脳卒中、各種ショック状態などで、より高次病院での治療が緊急で必要な場合は要請していただきたいです。ただし現場からの重複要請があった場合は、重症・緊急度を判断させていただき、いったんお断りすることもありますので、ご理解・ご容赦のほどよろしくお願いいたします。

ドクターヘリは香川県民のための医療インフラです。どんどん活用していただきたいと思います。われわれスタッフは、他県へOJTとして研修に行き、香川県内の全消防機関との実動訓練を行って、今まで準備をしてきました。しかしながらまだ万全とは言えず、最初は不慣れな点多々あると思いますが、「オール香川で！」のスローガンとともにこれからも尽力してまいりますので、今後ともご指導・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



他県での
OJT



丸亀消防との訓練



機内での訓練

院長就任のご挨拶 院長 高口 浩一



このたび、河内正光前院長の後任として、2022年4月1日より院長を拝命いたしました。大変光栄に思いますと同時に、職責の重さに身の引き締まる思いです。

2014年（平成26年）に現在の新病院で診療を開始してから、8年が経過しました。この8年間 安心、安全な医療と医療の質の向上を掲げ、職員一同、県民の皆様の診療にあたってきましたが、直近2年間は新型コロナウイルス感染症の蔓延により、当院で主に新型コロナ感染症患者の重症、中等症の感染患者さんの診療を積極的に行ってきたため、本来の高度急性期医療の対応が難しくなった場面も見られました。

このような新型感染症の発生にも対処しながら、高度急性期医療も並行して行えるような体制を今後香川県や高松市、県医師会、群市医師会や地域の病院と連携して取り組んでいく所存でございます。

移転直後よりめざしている取り組みとしては

- ・ 高度急性期医療に特化し、先進的な医療を提供すること。
- ・ 三次救急医療の役割を担い、県民医療の「最後の砦」として断らない救急医療を実践すること。
- ・ 県の基幹病院として、他の医療機関との役割分担と機能連携の強化を図ること。
- ・ 県民に信頼される医療人材を確保、育成すること。
- ・ 職員全員がコスト意識を持ち、業務の効率化を図り、持続可能な医療を提供すること。
- ・ 風通しの良い、働きやすい職場を作り、質の高い医療を提供していくこと。

今年度よりはそれに加え新規の感染症発生にも対処できる病院運営を目指すこと。

また 2022年4月より香川県でもドクターヘリコプターの事業が開始されますので、香川大学医学部附属病院とともに運用しより迅速な救急医療に取り組むことです。

これからも「香川県の中核病院として安全・安心な医療を提供し、県民や地域医療機関から信頼される病院を目指します。」という当院の理念を実現し、県民の皆様の期待に応えられるよう引き続き努力してまいります。皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

退職にあたって 前院長 河内 正光

このたび、3月31日を持ちまして香川県立中央病院を退職することになりました。平成11年10月から22年6ヶ月という長きにわたり皆様には大変お世話になり、誠にありがとうございました。

脳神経外科部長として赴任しました当時、多くの救急患者さんが県内各地より来院されました。幸いにも当院では救命救急センターがあり、脳卒中や頭部外傷などの重症の脳神経疾患の救急診療を24時間対応できる体制が整備されており、緊急手術、高度な治療を行うことができました。この間、地域の先生方からは脳腫瘍をはじめ種々の疾患を持たれた多くの患者さんをご紹介いただき、手術を担当（行わせて）させていただきました。疾患の性質上、必ずしも満足いく治療結果にならなかったこともありましたが、少しでも良くなる可能性があればと、患者さん、ご家族と頑張っていました。医療を通して多くの方々と交流をさせていただいたことを、大変ありがたく感謝しております。

その後平成26年3月には新病院へ新築移転となりましたが、当院では最新の医療機器を設置しただけでなく、医療スタッフの充実と緩和ケアを含めたがん診療や心疾患、脳卒中、重症外傷などの高度な急性期医療の専門施設としての機能が整えられ、香川県医療の最後の砦として皆様の期待に応えられるような病院を目指してきました。

そして、平成31年4月からは院長を拝命して中央病院のかじ取りをさせていただきました。病院の基本理念に沿って「患者さんの立場に立った医療」を目指し、急性期病院として高度先進医療とともに標準的治療を安全確実に提供することを目標に、職員と患者さん、病院と地域の間に暖かいつながりのある医療を目指して取り組んでまいりました。

また、経営改善を為すべく、職員の経営への意識の向上や、理解の浸透に努めました。

しかしながら、院長職の最後の2年間は歴史的な新型コロナウイルス感染症の拡大が生じ、重点医療機関として新型コロナ感染症治療においても、積極的な取り組みを行うほか、通常医療との両立にも腐心してきました。現在もコロナ禍は続いておりますが、当院においては、治療を主とした新型コロナ感染症への対応をスムーズに行うことができっております。これも職員全員の協力と地域医療機関の皆様のご支援があったことと感謝しております。

最後に、これまでの皆様のご厚情に厚く御礼申し上げますとともに、これからも香川県立中央病院の運営にご協力、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

単孔式胸腔鏡手術をはじめました

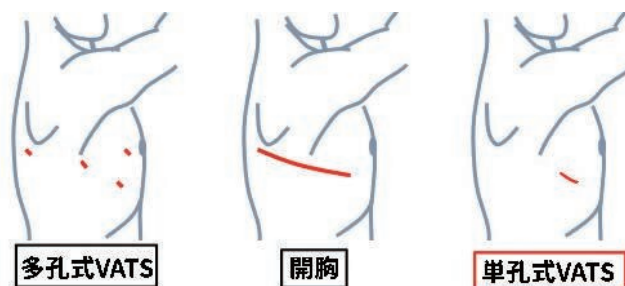
呼吸器外科 医長 鹿谷 芳伸

2020年12月より呼吸器外科では1カ所のあな(単孔)のみで手術を行う「肺悪性腫瘍に対する単孔式胸腔鏡手術」を導入いたしました。

旧来、肺を小さく切除する部分切除術や気胸手術に関しては単孔式手術もひろく行われてきましたが、血管切離などのより複雑な手技を要する肺葉切除術等に対しては側胸部に複数の孔を作成する多孔式胸腔鏡手術やロボット支援下手術が安全で有効な手術であると証明され、当科でも数多く施行し、良好な治療成績をおさめてきました。しかし、世界的に患者負担のさらに少ない低侵襲な術式への要望が強まり、複雑な手術に対しても単孔式手術が導入され、医療機器の発達や外科医の技術進歩によって、より安全な単孔式胸腔鏡手術が可能となったことから、アジア、欧州を中心に急速に普及してきました。この手術のメリットとしては従来の多孔式手術より整容性に優れ、創の少なさから術後の痛みが軽い可能性が示唆されています。

当科では2020年12月より原発性肺癌(臨床病期Ⅰ期)、転移性肺腫瘍に対し単孔式手術を導入しています。現在、肺葉切除術、肺区域切除術を施行してまいりましたが、術中血管損傷や開胸移行例もなく、安全に症例を重ねています。

最後に、現在スタッフ3名と専攻医3名の計6名が呼吸器外科に所属しております。香川県の中核施設として、最新、最良の治療を提供するとともに、若手医師の教育の役割も果たすべく鋭意努力してまいります。

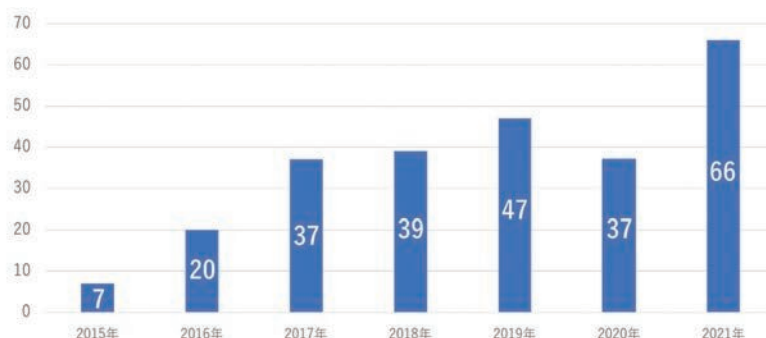


経カテーテル大動脈弁留置術 (TAVI) 専門施設に認定されました

循環器内科 部長 野坂 和正

当院は2015年7月に経カテーテル大動脈弁留置術 (TAVI) を開始し、2022年3月時点で266症例を行いました。日本国内のTAVI手術数は年間10,000例をこえ、大動脈弁狭窄症に対する標準的な治療として確立しています。TAVIは約1時間の手術時間で施行可能で、患者さんの状態によるものの鎮静・局所麻酔下でも施行可能であり、術後数日で退院することが可能なカテーテルによる低侵襲手術です。ただ、低侵襲とはいえ安全なTAVIの施行には多数の知識と経験が必要で、ハイブリッド手術室などのハードウェアのみならず、心臓血管外科・麻酔科をはじめとした各診療科やコメディカルも含めたハートチームによる協力が不可欠です。TAVIを施行するには日本経カテーテル心臓弁治療学会の厳格な審査による施設認定が必要であり、認定施設、専門施設、指導施設と3種類の認定があります。

今回当院は、3年間で150症例以上のTAVIを施行していることが条件であるTAVI専門施設の認定を受けました。また当院には現在3名のTAVI指導医が在籍しており、安全で質の高いTAVIを施行することが可能です。TAVI専門施設の認定を機に今後更に低侵襲かつ安全なTAVIを提供してまいりますので今後ともよろしくお願い致します。



2022年3月28日時点で**266**症例

病院で提供している食事を紹介します！ ～「かがわ食育の日」～

栄養部 松下 友美

当院では、毎月19日の「かがわ食育の日」に、『さぬき讚ベジタブル』や『さぬき讚フルーツ』など、旬や品質等にこだわった香川県産の野菜や果物等を提供しています。

例えば、『さぬき讚ベジタブル』は「三豊なす」「食べて菜」、『さぬき讚フルーツ』は「小原紅早生などの柑橘類」「香緑(キウイ)」「ピオーネ」などを今までに提供しました。また、食事の提供と同時に、そのとき提供した野菜や果物を紹介した「食育カード」を添えています。

実際に召し上がった患者さんからは、「とても甘くて美味しかった」「また食べたい」などの声を直接いただいたり、感想を書いたお手紙をいただいたり大変好評でした。そのときの旬の野菜や果物を味わっていただくことで、患者さんに、病院の中にも外の季節を感じていただくことができたのではないかと思います。

患者さんの症状に合わせた食事を提供することはもちろんですが、香川県ならではの食材を使用しながら、栄養管理にプラスして、地産地消の推進と喜んでいただける献立内容の検討に、今後も継続して努めて参りたいと思います。



▲小原紅早生



▲ピオーネ



▲さぬきひめ



緩和ケアセンター便り (10)

緩和ケア病棟リニューアル!?

緩和ケアセンター GM
(ジェネラルマネージャー) 西山 美穂子



当院の緩和ケア病棟は、2019年10月の本格稼働開始から約2年半が経ちました。苦痛症状が緩和され、できる限り当たり前の日常を過ごせるように…、ゆったりと穏やかに大切な人との時間が流れるように…、入院されている患者さんやそのご家族と緩和治療やケアに関わるさまざまな職種の医療スタッフが、ともに悩み、泣き、笑いの日々を過ごしています。

そんな緩和ケア病棟が今年度リニューアル! ? します。

当初は手前味噌を並べるようですが、穏やかな瀬戸内海の島々や海を見渡せる特別室が1室、高松の夜景が見下ろせる少し広めの有料個室が6室、オーシャンビューがうれしい無料個室が8室でした。

2022年4月より、病室料金の見直しを行い、特別室以外の個室14床を全室無料個室として運用することになりました。緩和ケア病棟での療養を必要とするより多くの方にご利用いただければと思います。よろしくお願ひします。



医療セミナーのご案内

日時 ● 令和4年8月18日(木) 19:00~
講師 ● 脳神経外科 診療科長 市川 智継
テーマ ● 機能的予後が求められる時代の脳神経外科手術

脳神経外科手術といえば、救命重視の治療のイメージが強いですが、生命予後だけでなく、機能的予後が重要視される時代になっています。

脳卒中や脳腫瘍に対して神経機能を護るための手術法や手術支援法、三叉神経痛や顔面けいれんに対する機能的脳神経外科手術などについて、わかりやすく解説します。

日時 ● 令和4年9月22日(木) 19:00~
講師 ● 整形外科 医長 廣瀬 友彦
テーマ ● 未定
※テーマは決定次第お知らせいたします。



医療セミナーのページがご覧いただけます。

「おつうじにまつわるうんちく話 その22」は紙面の都合で次号に掲載いたします。大変申し訳ありません。

発行者 香川県立中央病院 高口 浩一
編集 広報委員会

〒760-8557 高松市朝日町一丁目2番1号
TEL (087)811-3333 FAX (087)802-1160



広報誌「れんけい」バックナンバーがご覧いただけます。

医師の人事異動

転入

- ①出身大学 ②卒業年
- ③趣味 ④抱負

(4月1日付転入)



やすとみ えりこ

安富 絵里子
(消化器内科)

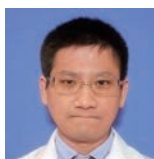
- ①岡山大学
- ②平成24年
- ③ピアノ
- ④消化器内科、特に炎症性腸疾患の分野で皆様のお力になれるよう尽力いたします。



おおはら やすひろ

大原 靖弘
(呼吸器内科)

- ①香川大学
- ②平成29年
- ③野球観戦
- ④よろしく願います。



かなもり ひろき

金森 大樹
(呼吸器内科)

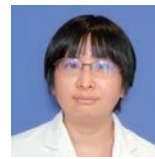
- ①自治医科大学
- ②平成28年
- ③ドライブ・旅行
- ④呼吸器領域を中心に勉強させていただきます。皆様のお役に立てますよう日々励んでいきたいと思っております。



みやぎ りょうすけ

宮木 亮輔
(循環器内科)

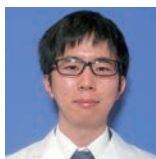
- ①岡山大学
- ②平成31年
- ③カフェ
- ④後期研修医として4ヶ月間お世話になります。よろしく願致します。



たいら ゆき

平 佑貴
(脳神経内科)

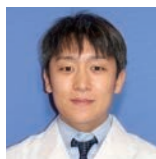
- ①旭川医科大学
- ②平成29年
- ③読書
- ④一生懸命がんばります。よろしく願致します。



にしやま まさし

西山 将
(内科)

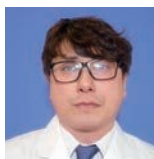
- ①自治医科大学
- ②平成31年
- ③剣道
- ④専攻医として自身の研鑽のみならず、患者さんや地域や病院に貢献できるよう頑張ります。



つだか しんぺい

津高 慎平
(消化器・一般外科)

- ①京都府立医科大学
- ②平成24年
- ③旅行、ゴルフ、野球観戦
- ④患者さんにとって最善の医療を提供できるよう日々努めてまいります。



おおはら ゆうじ

小原 勇二
(消化器・一般外科)

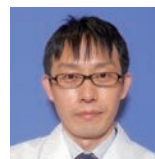
- ①カザフ国立医科大学
- ②平成24年
- ③映画鑑賞
- ④日々勉強し、診療に活かせるよう頑張ります。よろしく願致します。



いしはら ともり

石原 朋典
(呼吸器外科)

- ①岡山大学
- ②令和2年
- ③釣り
- ④患者様によりそった医療をおこないます。皆様のお力になれるよう尽力します。よろしく願致します。



おくやま みちひろ

奥山 倫弘
(心臓血管外科)

- ①高知大学
- ②平成18年
- ③ドライブ、音楽鑑賞、コーヒー
- ④技術の研鑽を怠らず、患者さんにきちんと還元できるよう、がんばります。



にしお としひこ

西尾 俊彦
(形成外科)

- ①岡山大学
- ②平成31年
- ③旅行、音楽鑑賞
- ④地域の皆様のお役に立てるよう精一杯頑張ります。よろしく願致します。



みやい たかゆき

宮井 貴之
(小児科)

- ①岡山大学
- ②平成14年
- ③映画鑑賞
- ④症状の少ない腎臓病は、患者様に分かりやすい説明を心がけています。また、専門領域に限らず広く研鑽に努めます。



しんない わたる

神内 済
(小児科)

- ①香川大学
- ②平成20年
- ③音楽鑑賞
- ④皆様のお力になれるよう努力いたします。



くさか ともあき

日下 智陽
(小児科)

- ①香川大学
- ②平成30年
- ③筋トレ
- ④若輩者ではありますが、地域の小児医療に貢献できるよう精進しますので、何卒よろしく願致します。



おち あきのり

尾地 晃典
(泌尿器科)

- ①岡山大学
- ②平成31年
- ③スキー、カメラ
- ④地元である高松市の医療に貢献するため、日々成長していきます。



はやた ゆう

早田 裕
(産婦人科)

- ①鳥取大学
- ②平成16年
- ③ゴルフ、野球観戦
- ④地域の皆様のお役に立てるよう頑張りますので、よろしく願致します。



くにとも のりこ

國友 紀子
(産婦人科)

- ①香川大学
- ②令和2年
- ③茶道
- ④香川県の産婦人科医療に貢献出来るよう努力して参ります。気軽に声をかけて下さい。宜しくお願いします！



やまだ まり恵

山田 まり恵
(耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

- ①香川大学
- ②平成29年
- ③ピアノ再開
- ④患者さんやご家族に寄り添う医療を提供できる様努めて参ります。



なかむら ともや

中村 友哉
(歯科・歯科口腔外科)

- ①岡山大学
- ②平成29年
- ③剣道、ゴルフ
- ④地域医療に貢献できるよう尽力します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



いわかわ あすか

岩川 明日香
(麻酔科)

- ①高知大学
- ②平成31年
- ③旅行
- ④一生懸命頑張ります。よろしく願致します。

医師の人事異動

転入

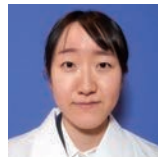
- ①出身大学 ②卒業年
- ③趣味 ④抱負

(4月1日付転入)



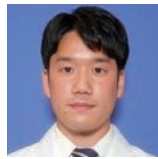
まるやま たくむ
丸山 拓夢
(放射線科)

- ①鹿児島大学
- ②平成26年
- ③音楽
- ④岡山大学病院放射線科所属です。早く仕事に慣れて、皆様にお力になれるよう頑張りたいと思います。



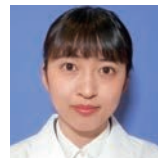
いしたに のぞみ
石谷 望
(研修医)

- ①自治医科大学
- ②令和4年
- ③映画鑑賞
- ④香川県の地域医療に貢献できるよう、前向きに尽力いたします。



いした かずき
石田 一輝
(研修医)

- ①自治医科大学
- ②令和4年
- ③筋トレ
- ④少しでも多くのことを学び、吸収できるようがんばります。



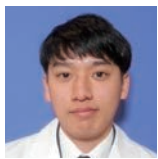
うきた さよ
浮田 紗代
(研修医)

- ①自治医科大学
- ②令和4年
- ③ランニング、映画鑑賞
- ④一生懸命頑張りますので、2年間よろしくお願ひ致します。



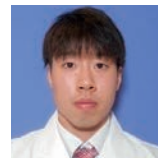
おおかわ しんたろう
大川 慎太郎
(研修医)

- ①長崎大学
- ②令和4年
- ③ゴルフ
- ④少しでも自分に自信をもてるように一生懸命がんばります。よろしくお願ひします。



おだ しもん
小田 志門
(研修医)

- ①香川大学
- ②令和4年
- ③写真
- ④2年間の研修を終えたときに、自信をもって初期研修医生活を送れたと思えるように日々努力したいです。



さとう こうき
佐藤 公紀
(研修医)

- ①香川大学
- ②令和4年
- ③筋トレ
- ④日々成長できるようにがんばります。



たおか よしひろ
田岡 慶大
(研修医)

- ①福岡大学
- ②令和4年
- ③筋トレ
- ④同期や上級医の先生方と良好な関係を築きながら、日々努力を積み重ねてしっかりとした臨床能力をつけたいです。



のぐち はるか
野口 遥地
(研修医)

- ①香川大学
- ②令和4年
- ③クライミング
- ④皆様のお力になれるよう、精いっぱいがんばります。



ひらい たかひと
平井 貴士
(研修医)

- ①近畿大学
- ②令和3年
- ③読書
- ④仕事や遊びで何回か香川県に来たことがあります。土地柄を非常に気に入っているため、一緒に働く人達に喜ばれるようになりたいです。



まつやま ふみ
松山 文美
(研修医)

- ①愛媛大学
- ②令和4年
- ③サッカー観戦
- ④一つでも多くのことを吸収できるよう、一人一人の患者さんと真摯に向き合い、日々精進します。



まるい こうへい
丸井 康平
(研修医)

- ①自治医科大学
- ②令和4年
- ③料理、お菓子作り、オーケストラ鑑賞
- ④日々の診療を通して様々な患者さんや先生方から多くのことを吸収したいです。よろしくお願ひします。



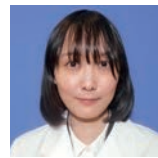
みよし こうすけ
三好 浩介
(研修医)

- ①島根大学
- ②令和4年
- ③映画鑑賞
- ④未熟ですが、先輩方から多くのことを吸収していけるよう努力しますので、どうぞよろしくお願ひします。



やまぐち のぞむ
山口 望
(研修医)

- ①岡山大学
- ②令和4年
- ③スポーツ観戦
- ④スタッフや患者さんとのいい関係を築いて、まずは覚えてもらえるようにがんばります。



ふじさわ あやか
藤澤 綾香
(歯科研修医)

- ①岡山大学
- ②令和4年
- ③犬を洗うこと
- ④まずは、自己管理と自己研鑽を両立させたい。

転出

(3月31日付)

- 深田 悠史(消化器内科)
- 平野 佑一(消化器内科)
- 西尾 綾乃(消化器内科)
- 永原 崇甫(消化器内科)
- 小森 雄太(呼吸器内科)
- 柳原 奏(循環器内科)
- 近藤 大祐(内科)
- 奈田 知明(内科)
- 松村 吉晃(内科)
- 綾 悠佑(内科)
- 橋田 真輔(消化器・一般外科)
- 東原 朋諒(消化器・一般外科)

- 梅田 将志(呼吸器外科)
- 植田 昌敬(整形外科)
- 井上 智博(整形外科)
- 小林 光郎(小児科)
- 川本 昌平(小児科)
- 松原 満理(小児科)
- 松尾 聡子(泌尿器科)
- 梶 笑美子(産婦人科)
- 内藤 智之(耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
- 清水理恵子(歯科・歯科口腔外科)
- 藤井 彩加(麻酔科)
- 池添慧梨香(研修医)

- 大山 楽萌(研修医)
- 柴田 幸穂(研修医)
- 多田羅 望(研修医)
- 中西健太郎(研修医)
- 野村 綾(研修医)
- 長谷川愛子(研修医)
- 藤本 遼(研修医)
- 増田 史紗(研修医)
- 木村 凧(研修医)
- 山本 和泉(研修医)